



Table Tennis

2017.11

December

- カラー大会報道 第48回全国中学校卓球大会 [6]
カラー大会報道 第29回ユニバーシアード競技大会 [10]
カラー大会報道 平成29年秋季関東学生リーグ戦 [16]
カラー大会報道 平成29年関西学生リーグ戦 [18]
大会報道 第48回全国中学校卓球大会 [20]
大会報道 第29回ユニバーシアード競技大会 [24]
大会報道 平成29年秋季関東学生リーグ戦 [28]
大会報道 2017ヨーロッパ選手権大会 [30]
大会報道 平成29年度第45回関東中学校大会 [32]
大会報道 中学校各地区ブロック大会 [33]
日本の肖像 古沢良太(脚本家) [34]
「私の指導論」 真田浩二(愛工大附属中学校監督) [36]
練習のヒント 織部幸治(ITS三鷹代表) [38]
トレーニングFF 田中礼人(男子NT専任コーチ) [40]
練習方法取材 名門クラブに聞いた! 練習法公開 取材協力: 石田卓球クラブ(福岡県) [42]
ラージボールテクニック 藤本武司(東京営業部)・内田康裕(大阪営業所) [44]
カラー大会報道 第29回東南アジア競技大会 [62]
カラー大会報道 2017ヨーロッパ選手権大会 [64]
カラー大会報道 2107ジュニアスポーツアジア交流大会 [68]
カラー大会報道 第44回関東ブロックレディース大会 [76]
ラージを愛する人たち 米山隆(秋田県) [77]
interview 国際審判員最高位「ブルーバッジ」を取得した今野啓さん [78]
頑張ろう東日本 佐藤勝雄石巻卓球協会会長 [79]
チーム紹介 東京理科大学 [80]
- 第5チャンネル [46] みんなのコーナー [58]
ピンポン東西南北 [47] 編集室 [58]
各地レポート [49] ニッタク講習会 [81]
- | 2017Nittaku秋冬カタログ [83~105]

Message

何かを獲得するためには、緊張した状態にならなければいけないと思う。試合で緊張状態でどうなるか、と言えば、動けなくなるか、もしくは力を引き出せるか、だと思う。

大きな困難に直面するときこそ、強い個性を持つ選手の真価が發揮される。ポジティブな緊張状態で得られるパフォーマンスと成果は、全てを凌駕すると思う。身動きをとれなくする不安を振り払うことで、最高の姿を見せられると思う。もちろんその逆もあると私は考えている。

卓球という競技はボールをうまく扱うだけではない。様々な状況に合わせ

て行動し、いくつもある道から正解をはじき出していくスポーツだと思う。

若い頃は、勢いだけで勝利してしまう時がある。しかし年齢を重ねることで、様々なことを経験し、より素晴らしい、的確な動きを見せれるようになる。

誰もが自分のことを不可欠な存在だと思い込んでしまう。歳を重ね、経験を増やし、経験を蓄積した分だけ、成熟し、よりよい人間となれる。

(温)



表紙
第29回ユニバーシアード競技大会
男子单複2冠
森薗政崇(明治大)
写真:前原麻芳